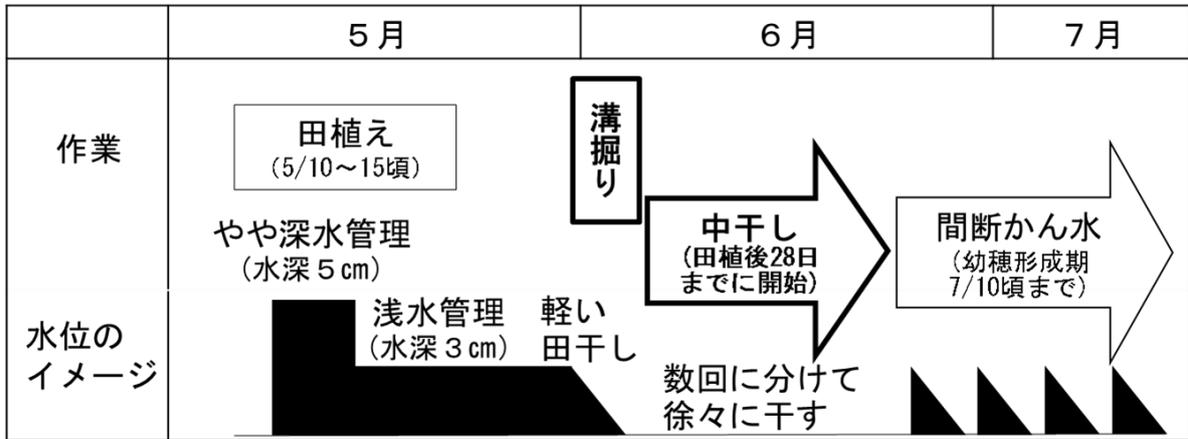


稲作管理情報 (溝掘り・中干し)

令和7年5月吉日
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

「中干し」は田植後4週間(28日)までに遅れずに開始!

〈水管理のイメージ (中生)〉



溝掘りと中干しの効果

～営農記録ノート P28 参照～

〈溝掘りの効果〉

- ①入排水を素早く行えます。
- ②停滞水をなくし、ほ場全体で均一な水管理が容易になります。

〈中干しの効果〉

- ①過剰な分けつの発生を抑えます。
- ②ワキ(有毒ガスの発生)を抑え、発根を促します。

※昨年「ひこばえ」が大きくなったほ場(写真1)では、

中干し前の5月6半旬から6月1半旬にかけて軽めの田干しを実施しましょう。

- ③収穫時のほ場の硬さを確保します。



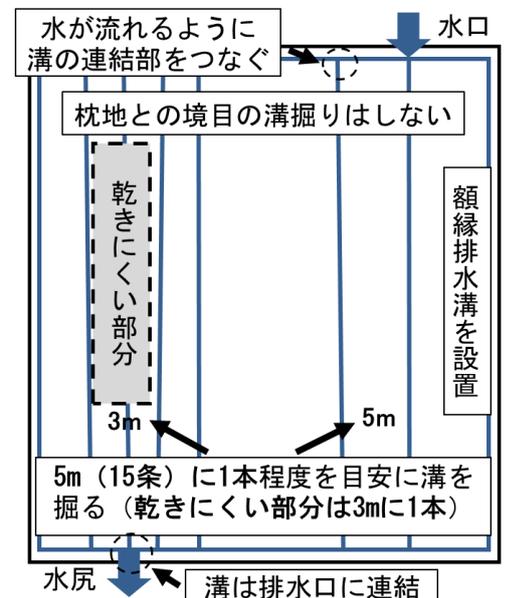
写真1 収穫後のひこばえ

溝掘り

～営農記録ノート P28 参照～

- ・軽く田干しを行い、泥を固くしてから溝を掘りましょう。
- ・ほ場周辺に額縁排水溝と5m(15条)に1本を目安(乾きにくいほ場は3mに1本)に溝を掘り、排水口に連結しましょう。

○農作業を行ったら「農作業のあしあと」(P29)にしっかりと記録しておきましょう。



(中干しの詳細は裏面)

中干し

～営農記録ノート P28 参照～

〈実施時期〉

田植後4週間(28日)までに開始しましょう。

※茎数が目標値より少ない場合は、やや弱めに干して発根を促しましょう。

〈中干しの程度〉

- ・田面に小さいひびが入る程度を目安とし、干し過ぎないよう数回に分けて徐々に干しあげましょう。
- ・茎数が多くなりやすいほ場や乾きにくいほ場では、やや強めに干しましょう。

中間追肥 (カリ入り土づくり資材を施用しなかった場合)

～営農記録ノート P28 参照～

- ・中干し後の入水時に『エスアイ加里らくだ』(15kg/10a)または、『エスアイ加里カリ投げくん』(200g×20個/10a)を施用しましょう。

※カリ投げくんは5cm以上湛水して施用し、5日程度湛水状態を保ちましょう。

カメムシが増殖しにくい環境づくり

- ・カメムシを増やさないために、餌となる雑草の穂が出る前に草刈りを実施しましょう。
- ※7月上旬までカメムシの発生量を抑えることが斑点米の発生防止に重要です。

直播(鉄コーティング)管理情報 (溝掘り・中干し)

溝掘りと中干し

※効果は移植に準じます

～営農記録ノート P10 参照～

- ・6月上旬頃に、溝掘りを行いましょ。
- ・中干し開始の目安は、茎数が m^2 当たり300本(1m当たり100本程度)となった頃です。
- ・直播は、移植に比べて分けつの発生が早いので、遅れず中干しを開始しましょう。

葉いもち予防剤の散布

～営農記録ノート P10 参照～

- ・6月中旬に必ず予防剤を散布しましょう。

薬剤名	適用病害名	使用量	注意
オリゼメート1キロ粒剤	いもち病 白葉枯病	1kg/10a	湛水状態で散布し、 <u>散布後7日間は落水しない</u>

○ご不明な点は JA 高岡 担当営農指導員 または 高岡農林振興センター高岡班までお尋ねください。